

株式会社ジェイコム東京 すみだ・台東局 放送番組審議会 議事録

2015年度の放送番組審議会は、2016年3月23日(水)にジェイコムすみだ・台東会議室で開催された。

<放送番組審議会委員>

ご出席

浅野美恵子様	酒井孝昌様
高橋正実様	辻原大輔様 (村田和正様 代理)
前田恵子様	松本 潔様

(50音順)

審議会会長選任

会長に松本委員を選任した。

事業者側から現況報告及びJ:COMチャンネルの取り組みにつき報告があった。

【審議:質疑応答】(松本会長による進行)

■『番組取材』について

(委員)日頃より様々な団体の活動について取材・放送をされており、重要な役割を果たしている。今後も区民のためになる情報を発信してほしい。

(事業者)地域の情報提供があつて番組作りが成り立っているので、地域との関係作りを強化し、積極的に情報を収集していきたい。

■『災害対応』について

(委員)台東区・墨田区には隅田川や不忍池があり、今後、昨年9月の鬼怒川氾濫のような水害が起こるかもしれないので、被害情報の発信に力を入れてほしいが、情報の提供手段はあるのか。

(事業者)昼夜問わずの緊急対応となるので、取材スタッフの体制づくりを始めている。

被害がなくても安心安全であるという情報は発信していく。

情報は局への来社、カスタマーセンターへの電話、地域プロデューサーへの連絡でも承る。茨城県常総市での災害時は、市役所の電話回線不通や道路規制もあり、スタッフが現場に入れず、災害後すぐに被害状況を発信する特別番組が放送できなかったが、翌週には住民のための給水情報や、がれき・ゴミの収集情報を放送した。

区役所や全国瞬時警報システムの緊急情報は11chで確認可能で、データ放送ではテロップによる情報も発信している。墨田区の防災情報はJ:COMの専用端末で提供している。

■その他のご意見

(委員)在住歴の長い住民はもちろん、新しい住民にも地元の事を理解し、興味を持ってもらい、楽しい生活が送れるように、地元のキャラクターを登場させ、江戸時代へタイムスリップするなどの企画で、大人にはドラマ仕立て、子供にはアニメで地元の歴史や文化を紹介する番組を制作してはどうか。番組で過去のものを未来へつなぐことができれば素晴らしいことだ。

歴史番組として、台東区の旧町名や隅田川の呼び名について取材してはどうか。

恒例行事である地元の祭りやイベントを放送するのも良いが、それらの歴史を辿る番組も制作してはどうか。

(事業者)地元の歴史や文化を知らない新しい住民が増えてきている。

営業担当にもコミュニケーションツールとして、地元の話題が必要だと感じている。

景色の移り変わりや語り部なども、地元のメディアとして地元の人に見てもらうために、番組作りに取り入れていかなければならない。

番組視聴者の中心は主婦やシニア層の大人だが、子供向けの番組は教材になる可能性もあるので検討していく。

寺社が多い町なので取材先は豊富、過去の映像アーカイブの活用も検討する。

閉会（事務局）

各委員からの貴重なご意見、ご要望を、今後の番組制作に役立たせていきたい。

以上